



高田川堤防大野地内

広

陵

町

議会 だより

 **No.97**
平成 29 年 5 月 1 日

目次

2	就任のごあいさつ 第2回臨時会
4	第1回定例会
9	当初予算を可決
10	町政を問う一般質問
17	委員会の窓
21	意見書
22	議会日誌

笹井由明議員が議長に 副議長には山田美津代議員を



笹井 由明
議長



山田美津代
副議長

就任のごあいさつ

町民の皆さまには、平素から町議会に対し深いご理解とご協力を頂き、心から感謝申し上げます。

私たちは、このたびの町議会臨時会におきまして、議長、副議長に就任いたしました。

身に余る光栄でありますとともに、その責務の重大さを痛感しております。

もとより、微力ではありますが、誠心誠意務めてまいります。

本格的な少子高齢化社会の到来により、地方創生への取組として、定住・移住の促進、子育て支援、健康の町づくりなどの課題が山積している中において、意思決定機関及び行政の監視機関として議会の責務は重大であります。

議会基本条例に基づいた積極的な政策提言、さらな

る議会改革を進め、公平公正な議会、親しみやすい議会、そして議会事務局長には初の女性職員が登用され、女性の目線を生かしたわかりやすい議会の実現を目指して、執行機関の行財政の運営や事業の実施など、是非々の立場で、町の発展のため最善を尽くす決意であります。

さらには、町民の代表としての責任を強く自覚し、議員各位が町民の皆さまの思いをしつかり受け止め、その負託に応え、力を発揮できるように、信義に満ちた議会運営に努めて参ります。

町民の皆さまには、今後とも町議会へのご理解と町政に対するご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

第2回臨時会

臨時会が、4月14日招集されました。選挙1件、人事案件2件等が提出され、原案のとおり同意、可決しました。

人事

◆選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

臨時会において、任期満了に伴う選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙（指名推薦）を行い、次の方が当選されました。

（委員）

- 植村 量平（寺戸）
- 吉中 功（南郷）
- 竹井 宗男（三吉）
- 吉井英一郎（正相）

（補充員）

- 高畑 博（馬見北5）
- 吉崎 康師（菅野）
- 寺輪 利一（馬見南4）
- 岩本 恵由（百済）

常任委員会構成決まる

一定部門の事務に関する調査及び議案、陳情等の審査を行うために、総務文教委員会と厚生建設委員会の常任委員会があります。また、議会を円滑にするために、2つの委員会から各3名ずつにより議会運営委員会が設置されております。

総務文教委員会

〈主な所管事項〉

行政一般、財政及び他の委員会に属さない事項を審査



委員長
谷 禎一



副委員長
吉村真弓美



委員
山田美津代



委員
吉村 裕之



委員
堀川 季延



委員
奥本 隆一



委員
青木 義勝

厚生建設委員会

〈主な所管事項〉

社会福祉、保健衛生、労働その他厚生一般に関する事項及び土木、耕地、都市計画その他建設一般に関する事項及び商工、観光、上下水道事業に関する事項を審査



委員長
八尾 春雄



副委員長
濱野 直美



委員
吉田 信弘



委員
山村美咲子



委員
坂野 佳宏



委員
坂口 友良



委員
笹井 由明

- 委員長 山村美咲子
- 副委員長 坂野 佳宏
- 委員 吉村 裕之
- 委員 坂口 友良
- 委員 堀川 季延
- 委員 青木 義勝

議会運営委員会

奥本 隆一議員（平尾）から
町監査委員のうち、議会議員
を選任することに同意しました。

議案第41号 町監査委員の選任

採決結果 全員一致で可決

廣橋 秀夫（弁財天）

議案第39号 広陵町固定資産
評価審査委員会委員の選任に
つき同意を求めることについて

平成29年
第1回
定例会
3月3日～3月21日

審議結果は次のとおりです。

人事

議案第1号～第5号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

- 木村 嘉秀 (寺戸)
- 竹田 しのぶ(馬見中1)
- 森川 勇 (三吉)
- 土井 隆雄 (菅野)
- 辻 泰枝 (馬見南3)

採決結果 全員一致で適任



条例

議案第6号 広陵町男女共同参画審議会設置条例の制定について

採決結果 全員一致で可決

議案第7号 広陵町立認定こども園条例の制定について

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 開園1年前に至っても未だ運営方針が定まらない。保育園と幼稚園を合併することに相応な無理がある。保育園の全面建て替えに転換せよ。

賛成討論 保護者の働いている状況に関係なく、幼児教育を一緒に受けられる。設計図を見ると、アレルギー対応の調理室が設けられている。未来を担う子供たちの健全育成のために、広陵北かぐやこども園の設置に賛成する。

議案第8号 広陵町障がい者施策推進協議会設置条例の制定について

採決結果 全員一致で可決

議案第9号 広陵町認知症初期集中支援チーム検討委員会設置条例の制定について

採決結果 全員一致で可決

議案第10号 広陵町農業委員候補者選考委員会設置条例の制定について

採決結果 全員一致で可決

議案第11号 広陵町空家等対策協議会設置条例の制定について

採決結果 全員一致で可決

議案第12号 広陵町上下水道事業経営審議会設置条例の制定について

採決結果 全員一致で可決

議案第13号 広陵町上下水道事業の特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の制定について

採決結果 全員一致で可決

議案第14号 広陵町個人情報保護条例の一部を改正する条例の一部を改正することについて

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 5,000万円かけて、住民の7%しか持たない個人カードでコンビニで住民票が入手できて3か月で3万円の利用しかない。無駄遣いの典型だ。

賛成討論 いわゆる番号法の改正に対し個人情報適正な取扱いに関し必要な事項を定める条例を改正しないことによる不利益を町民に与えてはならない。



議案第15号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正することについて

採決結果 全員一致で可決

予算

議案第16号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正することについて

採決結果 全員一致で可決

議案第17号 広陵町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正することについて

採決結果 賛成少数で否決

反対討論 企画部と環境部の提案理由が一致していない。いったん取り下げて再提案を求め。前代未聞の異常事態だ。

賛成討論 以前より公務員たるものが嫌がる困難で多少危険を伴う仕事はすべきであり、手当をつけるべきではないので賛成する。



議案第18号 職員の旅費に関する条例の一部を改正することについて

採決結果 全員一致で可決

議案第19号 広陵町税条例等の一部を改正することについて

採決結果 全員一致で可決

議案第20号 広陵町介護保険条例の一部を改正することについて

採決結果 全員一致で可決



議案第21号 広陵町地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正することについて

採決結果 全員一致で可決

議案第22号 広陵町廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正することについて

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 下水道整備が進み、し尿収集件数が減ったので料金値上げで事業者を救済するという本末転倒の提案である。

賛成討論 下水道の普及等により、し尿収集が減少傾向にある中、今後も安定したし尿収集事業の継続を行うため、料金改定はやむを得ないと考える。

議案第23号 広陵町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正することについて

採決結果 全員一致で可決

議案第24号 広陵町中学校給食運営委員会設置条例を廃止することについて

採決結果 全員一致で可決

議案第25号 平成28年度広陵町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ6億1,376万2千円の追加補正

採決結果 全員一致で可決

議案第26号 平成28年度広陵町水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ599万8千円の追加補正

採決結果 全員一致で可決

議案第27号 平成28年度広陵町水道事業会計補正予算(第1号)

公益的支出の予定額327万1千円の補正

採決結果 全員一致で可決

議案第28号 平成29年度広陵町一般会計予算

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 マイナンバーでの無駄、中学生名簿の自衛隊無断閲覧容認、デマンドタクシー導入拒否、公共施設の削減計画、香芝市からの給食センター土地賃貸料放棄など27年度決算審議で指摘した事項について改善が見られない。

賛成討論 第4次総合計画後期基本計画の初年度となる年で、少子高齢化対策事業を柱に、継続事業や住民生活に密着したきめ細やかな予算が網羅されている。
増築保育園の地盤補強の問題は残るが、町事業遂行のため賛成する。

議案第29号 平成29年度広陵町国民健康保険特別会計予算
採決結果 賛成多数で可決

反対討論 全国知事会が国に要望して実現した国保会計1,700億円の援助は広陵町では基金に蓄えられ住民に還元していない。

賛成討論 平成30年度の県単位化を見据え、定められた制度の中で保健増進事業の推進、医療費の適正化対策に重点を置き、現行の

税率を維持するものである。

議案第30号 平成29年度広陵町後期高齢者医療保険特別会計予算
採決結果 賛成多数で可決

反対討論 低所得者に対し、制度開始以来9年間継続してきた掛け金の9割減免を廃止する予定だ。10倍の掛け金なんてとんでもない話だ。

賛成討論 この制度は、若い世代と高齢者の負担を明確にして、国民皆保険を引き継いでいく支え合いの仕組みである。高齢者の福祉の増進を図ることを目的とされている。

議案第31号 平成29年度広陵町介護保険特別会計予算
採決結果 賛成多数で可決

反対討論 家族による介護からこの制度を設けて介護の社会化を目指してきたのに、ここにきて施設からの退所、受けられるサービスのカットなど改悪が進められている。

賛成討論 この予算には、高齢者が住み慣れた地域で、医療、介護、生活支援サービスを安心して受けられる「地域包括ケアシステム」の構築が進められ、また「認知症初期集中支援チーム」の設置が含まれている。



議案第32号 平成29年度広陵町墓地区域特別会計予算
採決結果 全員一致で可決

議案第33号 平成29年度広陵町学校給食特別会計予算
採決結果 賛成多数で可決

議案第34号 平成29年度広陵町水道事業会計予算
採決結果 全員一致で可決

反対討論 共同給食センターに關し、香芝市から賃貸料を収入に計上していない欠陥予算である。営利を目的にした株式会社に調理を委託したのも問題だ。

賛成討論 栄養士による食育の取り組み、民間委託をすることにより確実な人員の確保ができ、安心して安全なおいしい給食に向けて、適正かつ円滑な運営がなされている。

議案第35号 平成29年度広陵町下水道事業会計予算
採決結果 全員一致で可決

議案第36号 第4次広陵町総合計画後期基本計画を定めることについて
採決結果 賛成多数で可決

その他

反対討論

町民が知らない間に公共施設を廃止する計画だが、むしろ公民館活動などの社会教育活動を活発にする方針が重要だ。

賛成討論

町民ニーズの把握や既存計画との整合性、平成28年5月より公募委員を含む策定懇話会での審議、時代の流れ、社会情勢等、様々な要素を踏まえ策定している。



議案第37号 指定管理者の指定に
ついて

採決結果 賛成多数で可決

反対討論

聞いたこともない法人だ。委託なら売上は町に入るが指定管理ではこの法人に利用料金が入金される。町のためにならない。

賛成討論

提案されている事業者は、熱意を持ってパークゴルフの普及に関わりを持たれ、経験が豊富である。また、施設管理についても現在のスタッフの雇用に配慮いただける。

議員提出議案

議員提出議案第1号 予算審査特別委員会設置に関する決議について

採決結果 全員一致で可決

議員提出議案第2号 給付型奨学金の拡大等を求める意見書について

採決結果 全員一致で可決

平成29年 第1回 臨時会 3月24日

議案第38号 広陵北かぐやこども園建設工事に係る請負契約の締結について

採決結果 賛成多数で可決

反対討論

開園1年前というのに運営方針すら定まらず建物工事を先行するもので無理やり幼保一元化するの子ども達にしわ寄せがある。

賛成討論

広陵町では、以前から幼保一体化に取り組み、子ども支援課を設置した。北幼稚園も北保育園も園舎が老朽化し。また、北校区は少子化が進んでいるため、認定こども園の設置が必要である。

平成29年 第2回 臨時会 4月14日

議案第40号 町立体育館の管理のかしに基づく損害賠償額の決定について

採決結果 全員一致で可決

議員提出議案第3号 広陵町副町長に対する辞職勧告決議について

採決結果 賛成多数で可決

反対討論

監督責任を踏まえ、昨年3月定例会にて、20%・3ヶ月の減俸を行った。本人から早期退職の意思を示しており、勧告すべき理由がない。

決議文中、「虚偽の答弁」とあるが虚偽とは立証されておらず、又「税金の無駄遣い」とあるが、無駄とは言えない。

賛成討論

提案者は、副町長の虚偽報告の確認は提示できなかったが、むしろ建築確認手続きを怠ったことや再発防止の責任を明確にするための必要な決議だ。辞職の時期についてもすみやかに明らかにすべきだ。

※決議文は、21ページに掲載しています。

広陵町議会 平成29年第1回定例会・第1回臨時会・第2回臨時会 議決結果一覧

◆**全員一致で可決、適任、同意、決議した議案**

- | | | | | | |
|-----------|--------|-----------|--------|--------|--------|
| 議案第1号 | 議案第2号 | 議案第3号 | 議案第4号 | 議案第5号 | 議案第6号 |
| 議案第8号 | 議案第9号 | 議案第10号 | 議案第11号 | 議案第12号 | 議案第13号 |
| 議案第15号 | 議案第16号 | 議案第18号 | 議案第19号 | 議案第20号 | 議案第21号 |
| 議案第23号 | 議案第24号 | 議案第25号 | 議案第26号 | 議案第27号 | 議案第32号 |
| 議案第34号 | 議案第35号 | 議案第39号 | 議案第40号 | 議案第41号 | |
| 議員提出議案第1号 | | 議員提出議案第2号 | | | |

◆**賛否の分かれた議案**

○……賛成 ×……反対

議 案	濱野直美	吉田信弘	山田美津代	吉村真弓美	山村美咲子	坂野佳宏	吉村裕之	坂口友良	堀川季延	奥本隆一	谷 禎一	笹井由明	八尾春雄	青木義勝	議決結果	
議案第7号 広陵町立認定こども園条例の制定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	原案可決 (賛11・反2)	
議案第14号 広陵町個人情報保護条例の一部を改正する条例の一部を改正することについて	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	原案可決 (賛11・反2)	
議案第17号 広陵町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正することについて	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×		×	○	原案否決 (賛4・反9)	
議案第22号 広陵町廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正することについて	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	原案可決 (賛11・反2)	
議案第28号 平成29年度広陵町一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に 加わりません	×	○	原案可決 (賛11・反2)	
議案第29号 平成29年度広陵町国民健康保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	原案可決 (賛11・反2)	
議案第30号 平成29年度広陵町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	原案可決 (賛11・反2)	
議案第31号 平成29年度広陵町介護保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	原案可決 (賛11・反2)	
議案第33号 平成29年度広陵町学校給食特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	原案可決 (賛11・反2)	
議案第36号 第4次広陵町総合計画後期基本計画を定めることについて	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	原案可決 (賛11・反2)	
議案第37号 指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	原案可決 (賛11・反2)	
議案第38号 広陵北かぐやこども園建設工事に係る請負契約の締結について	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×			×	○	原案可決 (賛9・反4)
議員提出議案第3号 広陵町副町長に対する辞職勧告決議について	×	○	○	退席	退席	×	×	○	×	×	○			○	○	原案可決 (賛6・反5)

平成29年度当初予算を可決

一般会計予算 108億3千万円

平成29年度一般会計など各会計予算の8議案は、予算審査特別委員会を設置し、議案についての討論が行われましたが、すべて原案どおり可決されました。

新規事業の主なもの

● 議場音響システム導入事業	2,000万円
● 議会用タブレット導入事業	161万円
● 空家対策計画策定業務委託	760万円
● 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画策定事業	400万円
● 社会資本整備総合交付金事業(交通安全施設等整備事業)	1,000万円
● 西谷公園整備事業	4,900万円
● 第32回国民文化祭市町村連携事業	784万円 など

継続事業の主なもの

● 広陵元気号運行事業	6,400万円
● 街路灯LED化更新事業	2,000万円
● 小中学校便所洋式化事業	994万円
● 図書館ガス空調設備の入替事業	2,905万円
● 特別史跡巢山古墳保存修理事業	4,653万円
● 町立体育館アリーナ床面張替事業	2,300万円
● 水道業務の総合委託	2,286万円
● 都市水環境整備下水道事業	7,080万円

百済中央線バイパス整備、長寿命化修繕事業、大谷奥鳥井線整備事業、長寿命化修繕計画策定事業、古寺町営住宅地上式受水槽設置事業など

平成29年度議会関係当初予算

報酬	5,011万円	議員報酬14人分
給料	1,239万円	職員給料3人分
職員手当等	2,746万円	議員期末・職員期末勤勉手当 2,421万円 その他手当 325万円
共済費	2,348万円	共済組合負担金 393万円 議員共済事務費 21万円 職員共済給付費町負担金 1,934万円
旅費	90万円	議員費用弁償 79万円 職員旅費 11万円
交際費	30万円	議長交際費
需用費	301万円	議会だより印刷代 149万円 法規追録・新聞・図書代 90万円 その他 62万円
役務費	14万円	自動車損害保険料 10万円 その他 4万円
委託料	167万円	会議録作成及び検索システム委託
使用料及び賃借料	121万円	会議録検索システムASP使用料 52万円 その他 6万円 録画映像配信システム使用料 36万円 議員視察用バス借上料 27万円
工事請負費	2,000万円	議場等音響システム改修工事
備品購入費	500万円	公用車購入費
負担金補助及び交付金	326万円	北葛城郡議長会負担金 158万円 政務活動費14人分 168万円
合計	14,893万円	前年度比較 2,244万円の増(17.7%増)

質 一
問 般

こころが聞きたなり!

町政を問う



一般質問を3月8日、9日に行いました。一般質問は、議員が町の行政全般にわたって理事者に対して、事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求めましたは疑問を質すために行います。

広陵町議会は、通告制(質問内容をあらかじめ議長に提出する。)を採用し、一議員、一時間の持ち時間で、質問回数に制限はありません。

なお、質問内容及び答弁内容については、紙面の都合上、要約掲載となっておりますので、詳細については会議録をご覧ください。

会議録は、6月上旬に町役場及び町施設のサービスカウンターに配置し、広陵町ホームページに掲載する予定です。

※答弁者の「理事者」との記載は、町長、副町長、教育長、関係部課長の発言を要約して掲載する場合に用いています。



奥本 隆一

讚岐神社・鳥居から
拝殿の間を「竹林の小道」に!!

問 広陵町立図書館を舞台に制作された映画『天使のいる図書館』で撮られた映画『讚岐神社は、本町の町おこしの起爆剤となり、来訪者の増加が期待される。そこで、神社参道を京都嵯峨野「竹林の道」のような風情のある参道に整備し、観光スポットになればと考えるがどうか。

山村町長 竹取物語ゆかりの地として、みんなで知恵を出し合つて整備ができればと考えている。よつて、先日締結した「奈良原と広陵町」とのまちづくりに関する包括協定での竹取公園と一体となった、周辺まちづくりの整備の中で、研究しながら検討する。

「町営住宅」入居補欠者を
待機登録制に!!

問 町営住宅の公募があるたびに申込みをしているが、くじ運が悪く未だ入居できない一方、初めて申し込んで入居できた方もおられる。町営住宅

宅管理条例では、入居者の選考は、住宅に困窮する度合いの高いものから決定するとある。こうした不運が起きないように、抽選に外れた者を入居待機登録者として入居順位を決め、空き部屋が発生ごとに登録順位に従い入居者を決定する待機登録制にしてはどうか。

山村町長 本町の町営住宅管理条例では、入居者の選考は住宅に困窮する度合いの高い者から決定すとあるが、この住宅に困窮する度合いの解釈が、応募回数の多さを基準とはしていないので、今後も、適正に公募を続けてまいら

広陵パークゴルフコース
増設の見通しを問う

問 平成26年3月議会で、田原本町領域の国有廃川敷地を借用し、コース増設を質問した経緯がある。それから3年が経ち、昨年1月に田原本町の森町長が誕生し、同町長と話す機会があり、この件に関して、協力すると快く言われた。その後の田原本町の動きと、今後、本町はどう進めていくのか。

山村町長 現在、廃川敷地でのコース増設について、必要な面積、事業費等の財源を検討している。廃川敷地は国有財産であるので、関係機関と協議を進め、方針がまとまり次第改めて議会と相談する。



吉村 裕之

地方財政計画と予算の 整合性及び財政課題について

問 税源の偏在により、国は地方自治体に対して地方財政計画を通じ財源保障していることから、平成29年度地方財政計画における重点項目と本町の予算編成について問う。

①公共施設等適正管理推進事業費の活用は。②公共施設等の集約化、複合化で発生する不便解消への対応は。③まち・ひと・しごと創生事業費の活用は。④子ども・子育て支援の量的拡充としてのデマンド交通について。⑤今後の財政見通しについて。

理事者 ①公共施設の集約化として「広陵北かくやこども園」の建設に公共施設等適正管理推進事業費を活用。②29年度中に施設評価を実施し、データ公表、ワークショップ等を通じ住民意見を集約していく。③活力あふれるまちづくりブランド戦略展開事業をはじめとする産業活性化と、子育て世代の移住施策等の実

施。④公共交通という範囲の中でどういった施策が可能か関係部局と調整検討する。⑤29年度当初予算は骨格予算ではあるが財政調整基金を取り崩すなど、30年度は更に厳しいと考える。

ふるさと納税による政策財源の 確保と本町の将来像について

問 ふるさと納税による寄附金は地方税や地方交付税、補助金だけではできなかつた施策や事業を実現するための貴重な財源であり、その確保には自治体の総合力が試される。産業振興と本町の将来像をセツトとした寄附金の確保、また使い道として学校や研究機関の誘致、「教育」を視点にした住環境や福祉、産業、インフラ整備等まちづくりについて見解を問う。

山村町長 平成29年度歳入予算に寄附金一千万円を計上し、達成に向けて魅力ある返礼品の発掘や全職員が広告塔となりPRと情報発信を行う。広陵町に必要なテーマや目標をしっかりと設定し、研究施設の誘致やまちづくりの要素を長期計画の中に含め考えながら進めていきたい。



堀川 季延

コミュニティカルテの 整理状況は

問 町長は就任以来、町職員を大字・自治会に担当職員として配置し、住民懇談会を開催したうえで、地域の要望や改善事項などの課題を掘り起こしコミュニティカルテとして整理し、地域活性化プランを策定していききたいとのことですが、4年経つた今、その成果とカルテの整理は進んでいますか。

当然、まちづくりの主役は区や自治会の地域であり、人づくりが大切だと思えます。時代の流れとともに、地域の共同事業もまとまりに欠く状況にあり、地域の各種団体の存続さえ危ぶまれております。どういった観点を捉えてカルテを整理され、活気ある地域づくりをめざす活性化プランを策定されるのか伺います。

山村町長 地域担当職員制度は、平成25年度から担当職員を配置し、住民懇談会を38箇所に出向き開催してまいりましたが、地域活性化プラン

の作成については進んでいないのが現状です。

この状況を踏まえ、今回、地域担当職員制度のあり方について検討会を立ち上げ、これまでの反省点等を踏まえ、改善を図ってまいります。

コミュニティカルテと地域活性化プランの作成において、地域担当職員の役割は重要だと考えます。

コミュニティカルテについては、地域の方々が自ら意見を出し合い、地域の特徴や地域の将来の姿をまとめる必要があり、地域担当職員は、住民懇談会等の場において、地域の方々の意見を引き出す援助者としての役割が求められます。また、地域活性化プランについては、コミュニティカルテの作成によつて浮き彫りになつた地域の課題を地域と行政が共有することで、課題解決に向けた取り組みを一体となつて効果的に行うことができるかと考えます。

第4次広陵町総合計画後期基本計画において、平成33年度における地域活性化プラン作成の目標件数を15件としており、今後も地域担当職員の配置や住民懇談会のあり方に改善を加えながら、コミュニティの活性化に向けた取り組みを進めてまいります。



坂野 佳宏

過去の質問からの
回答の進捗を問う

問 ①おやす池と町営住宅の一体的土地利用について

②指定区域の実態調査について

③帰属できない開発道路の町道認定について

④家庭用防犯カメラの補助について

山村町長 ①現在、大塚町営住宅の他、老朽化した町営住宅については状況把握を行い、長寿命化修繕計画を進めております。また、おやす池だけでなくため池を防災調整池と防火水槽の機能の維持も求められています。

今後、地元大字及び土地改良区のご意見を十分伺いながら検討してまいります。

追加申入れ 地元の地ならしは完了しており、要望書を提出したい。

②南郷地域で調査を実施し、総合治水の強化のため指導要綱の改正作業中であります。

③これまでの調査で町道認定できる

ものとはできないものを整理してあります。今後は、認定条件を整理し、可能であるものを議会に上程してまいります。

④個人に対しての補助は難しいと考えております。しかし、防犯カメラは犯罪の抑止を図り、住民の安心感を高める上で非常に効果的であり、プライバシー保護を確保した上で推奨できればと考えています。

具体的な都市計画
方針を聞きたい

問 第4次後期基本計画が上程されたが抽象的で、町長の目指す都市計画が見えない。住民の財産である土地の資産価値を守って頂きたい。

山村町長 都計法34条11号のいわゆる特区は基本的まちづくりの根幹とは考えていない。やはり、本来の用途地域の拡大をもつて対応すべきと考える。町としての機能、暮らしやすい利便性の高い町とすることによって、魅力を高め移住の促進に努めたい。

このことは、第4次後期基本計画においても表現できていると考えております。



吉田 信弘

広陵町営斎場
待合棟運営について

問 広陵町において、最近、一般葬よりも家族葬をされる割合が多くなっている様に思う。現在の待合棟使用料金は、一時間当たり町内2千円、町外4千円となっている。町内の場合は2日間使用(午後4時〜翌日午後4時)24時間、利用料金は4万8千円になる。私は、去年12月に親族としてこの待合棟で参列した。町営斎場が隣接しているので移動時間がかからないので楽だと思つた。近隣では、河合町、上牧町、王寺町の3町合同で静香苑の名称で、火葬場と葬儀会場を併設した斎場を運営されている。この施設は場所だけを提供し、広陵町の待合棟と同様利用される方が葬儀業者に依頼することになっている。そこで質問。

平成26年度、27年度、28年度の利用者数は何件なのか。待合棟の使用に関する広報はどのようにされているのか。本町においても町民の

方が安心して利用できるよう調査研究を行っていただきたい。町の収入に繋がるのでは。

山村町長 待合棟の利用件数は平成26年度は18件、27年度16件、28年度2月末で17件となる。待合棟の広報については町のホームページ、広陵町くらしのガイド等に掲載を行い周知している。ご指摘のように一般葬が減少傾向にあり、家族葬が好まれる傾向になりつつある。本町も今後の火葬場運営と併せて、家族葬が行いややすい施設等について現在調査・研究をおこなっているところである。





坂口 友良

生活支援コーディネーターの活動体制の進み具合は

問 介護保険制度が変わり、サービス提供を「住民主体のボランティア」もするようになり、まとめるのが生活支援コーディネーターである。ボランティアの育成から介護技術の指導まで、幅広く専門的な技能が必要である。具体的にコーディネーターはどの様に進めているのか。

山村町長 総合的に検討した結果、社会福祉協議会と平成29年度設置委託に向け、協議検討を進めている。住民ニーズ、地域資源また課題についての把握に努めている。

0、1、2歳児の保育所定員数の拡大の対策は

問 保育所の0〜2歳児は満員で他町の保育所を探しに行かなくてはならない現実がある。幼稚園は大幅な定員割れで教室も余っている。

これらを利用する発想の転換も必要で0〜2歳児保育を増やすべきではないのか。

山村町長 低年齢児を多く受け入れるには保育士の確保が大きな課題となっている。

幼稚園の空き教室の利用については、香芝市において、1・2歳児を分園として開設されているので不可能ではないと考える。

通常学級の配慮を要する子どものユニバーサルデザイン体制は

問 まわりの市町村では、支援の必要な子どもが増加してきたと聞く。広陵町ではまだ「子ども食堂なるものはないと思うが、学力面で不安がある子どもも体制はどうか。県下一の教育体制は守りぬいていきたい。

松井教育長 配慮が必要な児童、生徒がいるのが現状である。基準の担任数にさらに障がいによる支援の必要度に応じて、学校支援スタッフとして小学校に20人、中学校に7人を配置させていただいている。



濱野 直美

広陵元気号について

問 自動車を運転されない方が自転車で購入物に行く。しかし、住む地域によつては大変なため近い隣の市町村のスーパーを利用している。このような理由で町内の消費が減るのは残念である。

住民は「使える元気号」を望んでいる。平成30年住民アンケート、31年の検討改善を早めてはどうか。

山村町長 利用者数は、12月が3千229人、1月が2千710人、2月が3千112人、路線別では中央幹線が5.83%増北東部支線が18.53%減、西部支線が27.08%減となっている。こうした現状を踏まえ、利用促進についてのPRを継続して実施、また運転免許証を自主返納した高齢者を対象に回数券を配布する等、過度に自家用車に頼った生活から公共交通を利用する生活スタイルへの転換を促していきたい。

平成30年度の住民アンケート実施

までの期間でも改善が必要などころについては広陵町地域公共交通活性化協議会において協議し改善を図りたい。

百済〜松塚の 自歩道整備について

問 子育てしやすいまちづくりという小さい子どもが育てやすい環境を考えがちだが中高生、大学生も子ども。最寄駅までの道が整備されていないのは親としても不安である。

以前の質問で機運が高まったらという回答だったが、現在自動車以外で利用しているのは学生が多く、声があるのは難しい。百済地区は新しく住宅ができ、住民が増えている。今こそその時期ではないか。

また、中和幹線松塚交差点、南行きには表示がなく左折直進右折、それぞれ車の共通理解ができていない。早急に対応を。

山村町長 この道路は百済区民の願いとして承知している。大和高田市との協議を行ってきたが事業化する場合の負担区分、事業主体をどうするかで進んでいない。街路灯は区域外においても町が設置し、利便向上に努めている。

これからも色々な角度から大和高田市と協議していく。また、松塚交差点の表示は早急に対応する。



青木 義勝

映画「天使のいる図書館」
の町のPRを

問 本町図書館の新人司書ヒロイン「さくら」の心の成長を描いてあり「本と人、心と心を繋ぐ感動の物語」で、只の観光映画でなく、人間ドラマである。私も図書館に行つて映画の波及効果を聞くと来館者も増加中で映画の感想文も多数展示してあった。評判上々だなと感じた。全国的に本町の知名度アップを期待をして問う。

①制作費、財源 **②**4市1町の各負担額 **③**直近の評判・観客数 **④**映画の今後の活用手段(4市と共同、本町独自)この事が最重要であるので。

山村町長 **①**概ね5千万円・4市1町負担金3千万円協賛金等で5千万円 **②**国庫より各1千万円ずつ計5千万円(内2千万円は諸経費) **③**集計中であるが、上映期間延長中の館も有り評判上々である。 **④**共同では口ケ地めぐりPRイベント等協議中である。単独では、学校等でミニ上映

会を、映画関連商品の販売も検討中である。アイデアを戴きたい、予算も計上した。

ダイオキシンの
濃度超過の現状と対策

問 住民全体に説明スベキであるのに、今だになかったので問う。

①平成28年9月基準値超過で引取りを拒否されて施設で保管の「ばいじん」9.4トン、9月15日以降の処理物は、**②**原因の究明 **③**再発防止策 **④**経費は **⑤**町と業者の負担割合 **⑥**町民全体への説明会の予定は。今後特に住民に不安及び疑問を持たれる問題については敏速に情報公開をすべし。経費負担は当然関係業者の責任の所在を明確に示し強く求めるべき。

山村町長 **①**三重県の民間企業で無害化処理済。残りは長野県の民間施設で処理 **②**学識経験者、専門のコンサルで調査中である。 **③**調査結果を踏まえ万全の対策で実施。 **④**総経費は現時点で約2千万円(各検査に700万円原因究明委託1千080万円、再処理費57万円。機器の点検・補修300万円) **⑤**施工業者と協議中 **⑥**関係4地区には説明済。今後の説明会は検討中である。



八尾 春雄

各学校に専任の
栄養教員配置を

問 中学校給食開始を歓迎する。だがセンター施設見学で食育はできない。各学校に栄養教員を配置し学校単位に食育を強め、地産地消を進めおいしい給食にしてほしい。県の予算が取れないなら町費で独自に確保してほしい。

理事者 各校に専任で配置するためあと4名で年間864万円必要になる。独自配置してもペナルティーはないが現状4名でやりくりしたい。

マイナンバーの
管理運用について

問 役所に提出する申請書にマイナンバー記入が求められている。記入しない場合例えば本人と町役場に制裁はあるのか。職員も情報漏洩防止のため取り扱いに細心の注意を求められる作業の増加になっている。

理事者 記入は義務としているが実

態は任意であり、いずれも制裁されない。心配無用だ。国税庁HPにおいてもその旨例示されている。情報管理のため仕事が増えているのはその通りで仕事全体の軽減化が必要だ。

性的マイノリティー者(LGBT)の
性別表記について

問 町の各種申請書について性別表記は何種類で求めているのか。広陵町第4次総合計画後期基本計画に性的マイノリティー者(LGBT)への対応の必要性を認めながら実際には何もしていない。福祉部の怠慢ではないか。

理事者 広陵町には125種類の申請書に性別表記を求めている。性と性の不一致の場合や、個人情報取得は最小限にとの観点から見直しを進め、廃止できるものから順次廃止する。

◆その他の質問事項

○後期高齢者医療保険料の軽減廃止について
○道徳の教科化で何が変わるのか



山田 美津代

元気号運賃の改善と デマンド導入

問 再編された元気号は子ども達のデザインによりカラフルになりましたが有料により利用者が11%も減り高齢者の方が外出を控えておられるのではと心配である。運転免許証返納を進めるためにもデマンドの導入など高齢者支援を強める施策が必要。

理事者 元気号は再編により便利になったとか不便になった声もお聞きしている。必要な改善を行うがデマンドは検討しない。

町内の空き家を 町営住宅に活用を

問 老朽化した町営住宅は今にも倒壊しそうで心配である。空き家対策として空き家を町が住めるよう手当てして良好な環境に格安で住んでいただけるよう検討を。

理事者 空き家を町営住宅にする

ことは点在させてしまい、管理しにくくなるので下に店舗などを入れた町営住宅を建て替えることを考えている。

就学援助の 入学準備金は3月支給を

問 王寺町をはじめ河合町も上牧町も3月支給を始めている。北葛城郡では広陵町だけが6月以降の支給で必要な時の支給に変えるべきでは。

理事者 平成30年は3月支給するため29年の11月就学時健康診断において周知のチラシを保護者に配布する。入学準備金は国の補助金額が引き上げられることを参考にして検討する。



吉村 眞弓美

安定的な水の供給を 確保するために

問 水道施設について、全国の自治体では老朽化が進み管路の更新が問題視されている。水道事業の中長期的な更新需要と財政収支の見通しについてお伺いする。

理事者 年間4億円をかけて、平成28年度から7年間で、幹線(真美ヶ丘配水場から町内18か所の避難所を結ぶ水道管)の入れ替えは全て終わる。シミュレーションでは、水道料金について平成34年度までは今のままで、以降、料金改定も必要となる。今後は町施設全体としてアセットマネジメント(資産管理)を策定していく必要がある。

問 多大な電力を必要とする水道事業において、安心安全の観点から、電力の確保についてのお考えをお聞きます。

理事者 真美ヶ丘配水場では自家発電を改修し設備を整えている。ポンプ圧送をするので、電気が必要とな

る。県営水道は高い位置にあるため高低差を利用して直接送水できる。将来的には真美ヶ丘配水場がなくなっても送水できるのではないかと考える。広陵町と包括連携協定を結んでいる香芝市では、高いところに高架水槽があるのでそれを用いて圧力で送水するということが可能である。将来的にはそういうことも考えていく。



中学生の自転車通学の 交通安全対策について

問 馬見労務保育園前の横断歩道で立哨をしているが、思わず「危ない」と叫んでしまいそうな場面によく出会います。道幅も狭く、その中で、中学生は、自転車に乗って思い思いに走ってくる。この大変危険な状態で、どの様に対策を立てるのか。

理事者 学校での取り組みを含め、さらなる指導強化により、児童・生徒の安全第一を念頭において配慮してまいります。





山村 美咲子

子育てするなら広陵町で！
更なる支援の充実を！

- 問** ①子ども医療費の窓口無料化の実施を、県に積極的に働きかけ、見直しを行うよう要望するが、町の考えは？
- ②不妊・不育症に悩む方への治療支援事業について
- ③広陵町版ネウボラの取り組みについて
- ④祖父母世代の方々が、我が孫も地域の子供たちにもより一層温かく接し育ててもらうために、祖父母手帳を子育てのヒントがいつぱい詰まったガイドブックとして導入を
- ⑤子供の痛ましい事故をなくすためにも、成長過程の子供の狭い視野を大人が理解するため、「チャイルドビジョン」(幼児視界体験メガネ)の普及を

山村町長 ①広陵町としては、保護者の負担軽減を図る上からも、「現物給付方式」に変更したい。平成30年度の国保県単位化と共に、統一的な

- 制度となるように、協議していく。
- ②一般不妊治療の助成実施にむけて準備していく
- ③平成29年度は専任の助産師を起用し、相談できる対応をしてみたい。今後、日帰りや宿泊のできる産後ケアの充実など、ネウボラの精神をもつて意識を高め、地域づくりを進めていく。
- ④祖父母手帳は、有効な手段であると考え。導入について検討していく。
- ⑤安全対策に活用できると考える。教材の一つとして、チャイルドビジョンの周知と活用に取り組んでいく。

◆その他の質問事項

- 元気な広陵町をめざして
- 教育環境のさらなる充実を
- 殺処分ゼロをめざして



谷 禎一

考えられない！町の大事な
行為決定は口頭で行われていた

問 重要事業の会議や行政間の約束など他市町では会議録の作成が常識。メモや記録もなく口頭で行うから町の各事業で問題が続出している。

- ①今後も県や、土木、庁内会議など議事録もいまま進めるのか。
- ②議会で再三県と協議し、指示を受けたと答弁。議事録は。

理事者 ①何が必要なものかを考えて、会議録が保管されるよう努力する。

②協議はしていない。

園児の安全よりも
新設園舎を優先

問 北保育園のプレハブ園舎は安全として県に報告し、利用を許可されていたが、町は27年11月に地盤が軟弱で危険と解りつつ対処せず放置。認定こども園建築(11億円)

- より先に補強することを求める。①「補強する」が「しない」となった理由は。
- ②県に調査結果を報告する必要は。
- 理事者** ①建物の安全性を判断したうえで経過観察し、支障が出た時に使用禁止にする。
- ②調査結果は県土木には報告している。

町長の施政方針について

問 某新聞(提示)の新春インタビューでは、各市町の首長は「教育の町」「住宅地で街を発展」など具体的な目標を掲げて行政運営に取り組む。広陵町は課題に取り組むのは町の発展はない。また「いい町」とは各住民、老若男女にとって解釈が違ふ。町長が目指すのはどのような町の姿ですか。

理事者 「対話」「協働」「前進」をキーワードとし、愛着を持っていただける町。町民アンケートで住み続けたことの回答が70%を超えていることは今でも「いい町」と認識している。

委員会の窓

第1回定例会（3月議会）、第1回臨時会及び第2回臨時会に上程

された34議案は、総務文教委員会、厚生建設委員会及び予算審査特別委員会に付託され、審査を行いました。

その主な審査内容と結果をお知らせします。

総務文教委員会

議案12件

議案第6号 広陵町男女共同参画

審議会設置条例の制定について

問 本町の男女共同参画についての具体的な方向性は。

答 女性の活躍、女性の就業率を上げていくこと、子ども、子育てを中心とした方向で考えていく方針である。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第14号 広陵町個人情報保護

条例の一部を改正する条例の一部を改正することについて

問 住民税を天引きするために、町が事業者へ従業員の人件費を明示した決定通知書を郵送しているが、

この通知書にはマイナンバーの記入欄が設けられている。普通郵便で発送することにより、マイナンバーの大量漏洩が危ぶまれるのではないか。

答 今のところ法令に基づき個人番号を記載することとなっているため、アスタリスク処理等により個人番号を隠すことは考えていないが、間違つて開封しないよう注意書きを表面に記載して送付したい。

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第15号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正することについて

育児休業等の対象となる子の範囲の見直しに追加された「養子

縁組を結ぶことを前提とした里親委託制度」とは。

答 本制度は、特別養子縁組をする前に、6ヶ月以上養育するという試験期間の後、裁判で審判がなされるものである。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第16号 一般職の職員の給与

に関する条例の一部を改正することについて

問 特定任期付職員と今回追加される理事との違いは。

答 特定任期付職員は、高度の専門性を備えた弁護士・公認会計士等の民間の人材を活用し、期間が限定される専門的な行政ニーズに効率的に対応するために配置される職員である。

一方、理事については、町長からの特命事項に係る職務を遂行するための部の最上位責任者の位置づけと考へており、県から都市計画・開発指導の専門知識のある職員の派遣を依頼しているところである。

将来的には、職員の人材育成や国とのパイプをつくるため、総務省からの派遣も検討していきたい。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第17号 広陵町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正することについて

結果 賛成多数で否決すべきものと決しました。

議案第18号 職員の旅費に関する

条例の一部を改正することについて

問 公用車の台数には限りがあるため、やむなく私用車の利用もあるかと考えるが、事故が起こった場合の対応や私用車の自動車保険の加入状況についてはどのように把握しているのか。

答 自動車保険の加入状況については、個別に確認はしていないが、本人が怪我をした場合には、公務災害の対象となる。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第19号 広陵町税条例等の一部を改正することについて

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第24号 広陵町中学校給食運営委員会設置条例を廃止すること

について

問 本設置条例の廃止に関し、委員にはどのように知らせているのか。

答 第4条に「委員の任期は、委嘱の日から第2条の答申の終了の日までとする。」との記載があるため、答申をもって目的が終わったと理解していただいているものと考えている。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第25号 平成28年度広陵町一般会計補正予算(第4号)

問 保育士の支援スタッフの任期について、また、保育士は、経験が加味される仕事であるため、正職員で対応すべきでは。

答 3年で運用している。正職員を増やすため、順次、計画的に採用を進めているところである。

また、規定の保育の児童数に対して必要な保育士数については、できる限り正職員で対応するようになっているが、保育が困難な子どもについて、加配をしなければならぬ場合や早出、遅出の対応については、支援スタッフで対応している。

問 国庫補助金が要望どおり採択されなかったことにより、道路・公園等の事業費が減額されているが、今後、どのように対応しているのか。

答 国庫補助金の不足分については、翌年度においても、引き続き要望して参りたい。

問 小中学校へのクーラーの設置に伴う起債の償還期間と交付税算入額について。

答 償還期間は20年程度であり、交付税算入額は、約8千800万円である。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第36号 第4次広陵町総合計画後期基本計画を定めることについて

問 三世代ファミリー定住支援の周知方法は。

答 定住支援補助金のパンフレットを町と包括連携を結んでいる南都銀行に配置している。

また、家を建てやすく、リフォームがしやすいような取り組みとして、住宅ローンの利率の減額があることについても周知していきたい。

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第38号 広陵北かぐやこども園建設工事に係る請負契約の締結について

問 北保育園の増築園舎は使用しないこととなったが、この決定をした流れや文書の記録等はあるのか。

答 町幹部で内部会議は必要に応じて行ってきたが、大きな決断であるので、決裁文書等にし、しっかりと残していきたい。

問 北保育園の増築工事に関し、地盤調査をせず、工事を行った理由は。

答 待機児童解消を急ぐあまり、今回の結果となった面もある。

問 こども園のカリキュラムはどこまで進んでいるのか。

答 5月頃をめどに完成させたい。

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第40号 町立体育館の管理のしに基づく損害賠償額の決定について

問 保険補填対象外について、町が補填する目安はどのように決まっているのか。

答 特に明確な基準はないが、今後、町の顧問弁護士とも相談しながら決めていきたい。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

厚生建設委員会 議案14件

議案第7号 広陵町立認定こども園条例の制定について

問 開園時間についてすべての子どもが7時30分から可能なのか。

答 現在の幼稚園児は引き続き8時30分からである。

問 定員超過の対応について。

答 定員の2割増しで、かつ2年以内であれば預かる。

問 校区割があるのか。

答 認定こども園では校区設定がない。

問 PTA連絡協議会への加入となるのか。

答 加入の方向で進めている。これらすべての事項について詳細を詰めている段階である。

さらに保育園の保護者と幼稚園の保護者では保護者組織の在り方に困難もあるがしっかりと協議していきたい。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。



議案第8号 広陵町障がい者施策推進協議会設置条例の制定について

問 障害者差別解消法に関連し、広陵町としてPRをもっとしていつてはどうか。

答 合理的配慮については、職員向けに研修を行い、合理的配慮とはどういうものか、その障害の特性にもよりどういうことに配慮しなければならぬのか、窓口での対応で、こういうところには気を付けないといけないという研修は行っている。一般の方に向けても、社会福祉課の窓口ではパンフレットを置くなど、今後も機会を設け、合理的配慮についての理解を求めていきたい。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第9号 広陵町認知症初期集中支援チーム検討委員会設置条例の制定について

問 支援チーム検討委員会の概要は。

答 支援チームのあり方や、地域での認知症施策について検討する委員会であり、そのメンバーについては、サポート医、医師会等が国から示されている。現在、町としては、認知症施策で畿央大学と連

携しながら、多職種の中で支援チームのあり方を考えており、これが検討委員会になると考えている。

それを踏まえて、初期集中支援チームとは、個別の困りごとの案件、初期で認知症の可能性が有るような方がでてきたときに、かかりつけ医、認知症疾患医療センターに繋がり確定診断ができるようなシステムを進めていくというのが、初期集中支援チームである。その確定診断については、専門的なところであり、専門施設と協議をすすめており、チーム結成に向けて動いているところである。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第10号 広陵町農業委員候補者選考委員会設置条例の制定について

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第11号 広陵町空家等対策協議会設置条例の制定について

問 空家についての優遇税制を見直すことを先にやってもらったかどうか。耐震性にかける空家の斡旋はどうか。

答 広陵町の方針としては、空家

をいかに有効に利用していくかをまず最優先で図って参りたいという考えである。耐震も考えた上で、安価な費用でできる範囲のリフォームで、業者も事業ができる。借りる方もある程度耐震化を考えた上での安い借家を借りれるという、すべてのものにとつて有効なものがあるという事柄もある。固定資産にこだわるとは、空家として活用できるものについては民間も利用した再活用をすすめていくというのが、広陵町の方針だと思っている。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第12号 広陵町上下水道事業経営審議会設置条例の制定について

問 国保運営委員との報酬金額の差の経緯は。

答 国保運営協議会については、会議のみのもではなく、年間を通じての運営状況をみていただくことで年額2万円と設定している。平成30年度に向けて報酬の見直しも考えていきたい。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第13号 広陵町上下水道事業の特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の制定について

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第20号 広陵町介護保険条例の一部を改正することについて

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第21号 広陵町地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正することについて

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第22号 広陵町廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正することについて

問 以前の改正はいつか。近隣の市町村との兼ね合いはどうか。

答 前回の改正については、平成5年の段階で当時の基準単価を150円から170円に改正を行った。約24年前に実施をして、それ以来、改正はしていない。近隣と比べると、表面上では、広陵町が一番高いが、補助金は支給していない。ほとんどの市町村は転

売交付金という事業者側と交渉したなかで、一部補助をだす、或いは、一定の基準料をとるなど、それぞれで工夫をされているので、単価としては、広陵町が高いが、行政側での税金での負担はないので広陵町が高いわけではない。平均以下と判断している。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第23号 広陵町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正することについて

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第26号 平成28年度広陵町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第27号 平成28年度広陵町水道事業会計補正予算(第1号)

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第37号 指定管理者の指定について

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

問 パークゴルフ場を民間に委託

するにあたってのメリットは。

答 民間の自由にある程度のサービスの向上にもなる。我々ができないこともでき、グッズ販売とかサービステキなことも充実するのではないのかと、コースの改良など専門的な方がおられるので、パークゴルフ場の質の向上に繋がるという思いはある。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

予算審査特別委員会
議案8件

議案第28号 平成29年度広陵町一般会計予算

問 「みどりのふるさと応援寄付金」の実績は。

答 パークゴルフ場の維持管理、福祉事業、教育・子育て支援等を充実するための寄付として、約540万円が寄せられた。

問 町の観光施策として、たくさんの方が来ていただく手立ては。

答 夢のある観光事業を行えたらと考えている。箸尾地域が賑わうための会議の開催や町内一円での

レンタサイクルの展開、また、外国人に人気のある体験型の催しについても検討したい。

問 映画「天使のいる図書館」の反響は。

答 映画の影響により、図書館への来館者も増えているため、4市1町で構成している葛城地域観光協議会において、映画にちなんだロケ地めぐりやイベント等を共同で行っていきたい。

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第29号 平成29年度広陵町国民健康保険特別会計予算

問 特定健診に対する受診率向上に向けての取り組みは。

答 受診者の意向や現在の状況を把握しながら受診率向上につなげている。クーポン券、ポイント制度などで受診率が向上するのであれば積極的に取り入れていくことも可能である。

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第30号 平成29年度広陵町後期高齢者医療特別会計予算

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第31号 平成29年度広陵町介護保険特別会計予算

問 事業所を利用していただくため、この予算では、どういう工夫がされているか。

答 事業所にとっては、とても厳しい内容であると認識している。

今後の介護保険の安定性を図るため、自立支援に向けての取り組みを事業所と協力しながらサービスを考えている。

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第32号 平成29年度広陵町墓地会計特別会計予算

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第33号 平成29年度広陵町学校給食特別会計予算

問 小学校の食材の業者選定について、このままの状態で行くのか。

答 小学校5校に配送となり時間的な問題もある。また、町内の納入業者についても高齢化等もあり、一概に入札とはいえないが、今後慎重に検討していかなければならないと考えている。

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第34号 平成29年度広陵町水道事業会計予算

問 検針業務について包括委託料

で計上されているが何か変わったことがあるのか。また、検針を効率的に2ヶ月に1回としている自治体もあるが、広陵町の場合は毎月検針の方針に変わりはないのか。

答 今までの検針業務は、個人委託であったが、昨年12月から包括委託で休閑柱、窓口業務、滞納整理と検針も含めて民間委託している。検針の方針は、滞納に対応できるように使用者の立場を考え、毎月検針が良いと考えている。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第35号 平成29年度広陵町水道事業会計予算

問 公営企業法に則った予算編成

での緩和措置、是正措置、切り替えによる下水道料金への影響はどのように考えているのか。

答 公共性があれば事業としなければいけないので、一般会計からの繰入が認められていることから、上水道と同じ運営となる。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

広陵町副町長に

対する辞職勧告決議

中尾寛副町長は、広陵町立北及び西保育園増築事業の責任者として、議会に対し平成25年12月11日の議員懇談会において建築確認済証及び同検査済証の取得を明言し、約束していたが、必要法令を無視し事業を進めた。同園舎が概ね完成した平成26年3月20日には、工事着手前に申請すべき建築確認申請が提出すらされていないことが判明した。

以後においても、奈良県及び高田土木事務所と協議していると繰り返し説明を受けたが、そのような事実はなく議会に虚偽の答弁を繰り返し責任回避に終始した。最終的には、広陵北保育園増築園舎は使用中となり、建築費等の多額な税金の無駄使いとなった。

行政事務執行の責任者としての自覚が欠如し、町長に代わって業務の詳細についての検討や政策の企画立案を行い、その補助機関たる職員の担当事務を監督することとされているにもかかわらず、住民から負託された重責を認識せず、議員の再三の注意を無視し、行政に身を置くものとして法令に違反した行為は副町長としての資質を問うものであると言わざるを得ない。

よって、広陵町議会は、山村町長が任命した中尾寛副町長に対し、平成29年7月23日の任期満了を待たず即刻辞職を勧告するものである。

以上、決議する。
平成29年4月14日

奈良県広陵町議会

意見書

給付型奨学金の拡大等を求める意見書

大学など高等教育の学費負担の重さは、充実した学生生活を望む若者の前に立ちふさがり、障害となっている。若い世代に不安定雇用が広がるもとで、経済的理由から奨学金を返済できない人も増えている。政府は2012年9月、中等・高等教育の漸進的無償化を求めた国際人権規約第13条第2項（b）及び（c）の留保を撤回した。これにより、日本は高校・大学など「中等・高等教育の無償化」を目指すことになった。

公立高校授業料への所得制限の導入は、無償化への歩みを後退させるものであり、クラスに分断を持ち込み、保護者・学校現場の混乱を招くことも危惧される。教育の無償化は、憲法でうたわれた「教育を受ける権利」及び教育基本法における「教育の機会均等」から要請されることである。主要国では、すでに返済の必要のない給付型奨学金が整備されており、その多くで大学授業料の無償化、ないしは低額措置が実施されている。OECD（経済協力開発機構）の調査では、GDP（国内総生産）に占める日本の高等教育予算は0.5%と加盟34か国中で最低水準になっている。

こうした中、政府は、平成29年度予算で初めて給付型奨学金を創設しようとしている。平成29年度は下宿先から私立に通う成績優秀者と児童養護施設出身者の計約2800人に先行実施される。平成30年度以降は高校側が在校中の成績や課外活動の成果を基準に対象者を決め1学年約2万人に給付するものとなっている。こうした経緯をふまえた事項を実現するよう強く要望する。

記

- 1 給付型奨学金制度を拡大すること。
- 2 国立大学の学費減免制度など負担軽減策を拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成29年3月21日

奈良県広陵町議会

〔送付先〕衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 内閣官房長官
文部科学大臣

議会日誌

2月

- 3日 北葛城郡町議会議長会総会
永年勤続等表彰式
- 17日 第3回議会報告会
- 24日 議会運営委員会

3月

- 3日 第1回定例会(初日)
- 8日 第1回定例会(2日目)
- 9日 第1回定例会(3日目)
- 10日 総務文教委員会、厚生建設委員会
- 13 14日 予算審査特別委員会
- 15日 中学校卒業式
- 16日 幼稚園卒園式
- 17日 県町村議会議長会定期総会
小学校卒業式
- 21日 議会運営委員会
第1回定例会(最終日)
- 24日 第1回臨時会
- 29日 広報編集委員会

4月

- 6日 広報編集委員会
- 7日 小学校入学式
- 8日 中学校入学式
- 11日 幼稚園入園式
- 14日 第2回臨時会
広報編集委員会



小中学校に念願のエアコンを設置!

編集後記



今年、話題となった学校法人「森友学園」問題で国会が揺れに揺れた。そして、事件が発覚して最初のころに流れた塚本幼稚園の動画だ。無邪気な子どもたちが「教育勅語」を唱える姿は、異様だった。

広陵町においては、3月の第1回議会定例会で、広陵町立認定こども園条例と広陵北かぐやこども園建設事に係る請負契約の締結について可決され、平成30年4月開園を目指し、去る4月12日に建設工事着工に伴う起工式が執り行われた。

完成すれば本町において、第一号の「認定こども園」の誕生となる。

そして、今年、本町で話題となったのが映画「天使のいる図書館」。広陵町立図書館を舞台に、一人の新人司書の成長を描いた心温まるストーリー。大和高田、御所市、香芝市、葛城市、広陵町の4市1町からなる葛城地域にてオールロケを行い制作された。

映画の舞台となったことで、町おこしの起爆剤となり、本町への来訪者増加を期待するものである。

広報編集委員会

- | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|------------|-----------|
| 委員 堀川 季延 | 委員 吉村 裕之 | 委員 山村美咲子 | 委員 濱野 直美 | 副委員長 八尾 春雄 | 委員長 奥本 隆一 |
|----------|----------|----------|----------|------------|-----------|

